

あかるさかおるの スケッチブック

No.21

バックナンバーは、町ホームページで
まとめて読むことができます▶



「選挙の日」は、どんな一日？」

衆議院解散から総選挙へ。この原稿を書いている時点では投票率はまだわかりませんが、関心が高まっている一方で、今回も大きくは伸びないのでは、という空気も感じています。

そんな中、知人のSNSで、デンマークの中学生が参加する「学校選挙」の話題が目にとまりました。調べてみると、議会と教育省が主催する、本気の模擬選挙。参加する中学生は約7万人にのぼり、開票は国会から中継されるというから驚きです。

首相の告示を合図に、約3週間、授業の中でさまざまな政治課題について学びます。さらに、実際に各政党の若いメンバーが学校を訪れ、生徒たちと意見交換を重ねます。本物の選挙さながらに、生徒は自分の考えに近い政党を探していくのです。

投票日には校内に本物同様の投票所が設けられ、その夜はテレビで開票経過を見守りながら、選挙

終了のパーティーが開かれるそうです。デンマークでは投票日は一種のお祭り。家族や友人と食卓を囲み、政治の話を交わしながら結果を見守るのは、特別なことではないのだとか。

そんなデンマークの投票率はおよそ85%。主体的な人が育つ背景には、この学校選挙のように「自分の意見を持ち、違う意見も受け止める」ことを、知識ではなくリアルな体験として学ぶ場があるのかもしれません。それは同時に、社会とつながる楽しさを知る時間でもあるのでしょう。

政治と生活がどこか遠く感じられる日本で、今求められているのは、次の世代へ「本気」と「楽しさ」を、両輪で届けていくことなのかもしれません。

【このコラムを書いている人】

すがわら さやか
菅原 明香（あかるさかおる）

アライアンス

ナリワイ ALLIANCE 代表

通訳ガイドやアート活動、コミュニティづくりなどを行う複業アーティスト。三川町在住、2児の母。

